きたがた議会だより

No.172
平成30年11月1日

みんながんばったね、金メダル！

Contents

9月定例会

平成29年度決算を認定 …… 2

一般質問 …… 6

●発　行　北方町議会
●編　集　議会だより編集委員会　岐阜県本巣郡北方町長谷川1丁目1番地　TEL(058)323-1117
●URL　http://www.town.kitagata.gifu.jp

この議会だよりは再生紙を使用しています。

平成29年度決算を認定

一般会計歳出 71億702万円

平成30年 第3回定例会

平成30年第3回議会定例会が9月3日から18日までの16日間の会期で開催されました。

この議会では、町長提出の条例・補正予算・決算認定などの議案が原案どおり可決されました。

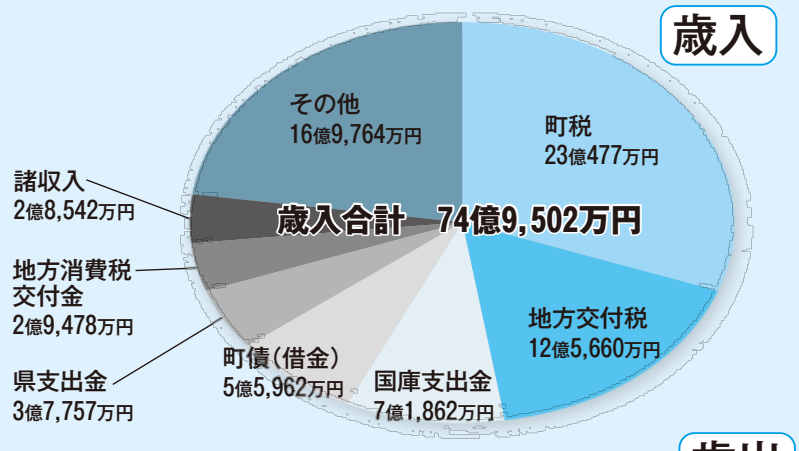
一般質問は5人の議員により行われました。

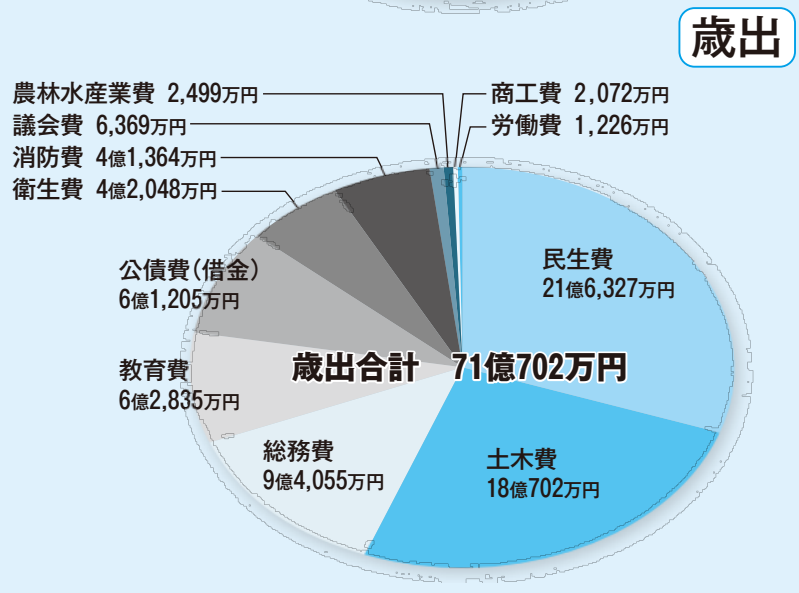
決算の概要

歳出については、一般会計は71億702万円、特別会計と企業会計の合計は46億4,863万円で総合計117億5,565万円の決算となり前年度を21億263万円(22%)上回りました。

一方歳入では、一般会計74億9,502万円、特別会計と企業会計の合計は50億9,182万円で総合計125億8,684万円となり前年度を22億5,207万円(22%)上回りました。

一般会計





特別会計の歳入歳出決算額の比較

（単位：万円）

会　計　名	区　分	平成29年度	平成28年度	比　較
国民健康保険特別会計	歳　入	25億3,205	26億4,471	△1億1,266
	歳　出	22億1,652	23億5,391	△1億3,739
	差　引	3億1,553	2億9,080	2,473
後期高齢者医療特別会計	歳　入	1億9,158	1億8,664	494
	歳　出	1億8,645	1億8,045	600
	差　引	513	619	△106
南東部開発事業特別会計	歳　入	14億0,633	120	14億0,513
	歳　出	13億1,713	45	13億1,668
	差　引	8,920	75	8,845
下水道事業特別会計	収　益	7億4,323	7億3,896	427
	費　用	6億9,193	6億9,136	57
	純利益	5,130	4,760	370

上水道事業会計の歳入歳出決算額の比較

（単位：万円）

	平成29年度		平成28年度	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
収入総額	1億8,029	3,834	1億7,613	3,073
支出総額	1億4,542	9,118	1億3,537	8,889

監査委員からの意見事項

①各会計の実質収支は、一般会計、特別会計の国民健康保険、後期高齢者医療、南東部開発事業、下水道事業ともに黒字であるが、純計決算による実質収支を見ると特別会計では国民健康保険以外は赤字である。従前より一般会計の繰出金により補てんされているものの、その財政負担になっていることは否めない。

特に下水道事業の歳出面においては、前年度に引き続き見直す支出がないか中長期・マクロ的に引き続き検討する必要がある。

②各会計とも実質収支は、黒字会計となっているが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が5年間で86・7％～89・6％と基準の75％を大きく上廻っており、現状では特に問題はないものの、経常経費支出の見直しと削減に引き続き努力する必要がある。

③上水道事業会計の純利益は、14・5％減少しているが、現状では健全なる運営で経営成績及び財務状態は良好となっているため、企業債の繰り上げ償還を検討されたい。

有収率は、老朽管の布設替工事等により確実に改善されている。

しかし、給水戸数の増加に比べ給水収益の増加率が低く、今後、給水収益の大幅な増加は見込めないため、北方町の水をアピールするなど給水収益の増加に努めるとともに、収納率の向上に努められたい。

委員会報告

9月議会では、総務教育常任委員会及び厚生都市常任委員会に条例、補正予算及び決算認定が付託され、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

主な質疑、討論は次のとおりです。

総務教育常任委員会

一般会計補正予算（第2号）

質疑はなく、歳出に関して、教育総務費の設計施工監理委託料は学童保育棟の建設に関するものであるが、学校構想検討委員会での検討が続いているため、関連予算の計上は時期尚早であるとの反対討論がありました。

一般会計決算の認定

問 寄附金の収入額が減少している要因は何か。

答 前年度は、多額の一般寄付をされた方がいたためです。

問 ふるさと納税の今後の方針は。

答 新たな返礼品の開発などで近年微増傾向にあります。今後も地元の岐阜農林高校などと連携し、適切な返礼品の提供に努めていきます。

問 高齢者タクシーの利用実績は。

答 平成29年度は28件の登録申請があり、実際の利用は10件でした。平成30年度からは、利用可能な医療機関を拡充して利便性を高めています。バス助成との兼ね合いも考えながら、高齢者が集う場などでニーズを把握するなど、今後の在り方を検討していきます。

厚生都市常任委員会

一般会計決算の認定

問 保育園の定員に余裕はあるか。

答 未満児保育のニーズが高いため、実質的に受け入れの余裕がないのが現状です。

問 今後の就園見込みは。

答 利用者が公立と私立のどちらを選択するかという要因もあるため、必要保育量を試算するのは難しいです。また、家庭内保育が一定量あることから、潜在的な未満児保育ニーズを把握し難い状況です。

問 未満児保育の実施状況は。

答 4園全てで実施しています。

国民健康保険特別会計決算の認定

問 保険税の現年度分の収納率が下がった原因は。

答 過年度分から優先して納付している等のためです。

問 北方町の滞納者の状況は。

答 滞納者の半数以上は、所得33万円以下の低所得者です。

問 収納の専門部署を設けるなど今後の対策は。

答 現在、収納の専門部署をつくることは考えていません。他の課との情報共有を強化し、催告書等を工夫して新たな滞納者をつくらない努力を続けていきます。

問 特定健康診査の個別健診と集団健診の違いは。

答 健診内容にかわりはありません。

人事関係

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、木野村ともみ氏(柱本)を任命することに同意しました。任期は4年です。

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の任期満了に伴い、八代勝秋氏(高屋)、武藤隆広氏(小柳)、安田やす子氏(黒定町)の3名を適任者と認めました。任期は3年間です。

条例関係

福祉医療費助成に関する条例の一部改正

次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正及び文言の整理を行うためのものです。

地域活動支援センター設置条例を廃止する条例制定

地域活動支援センターが障がい福祉サービス事業所(就労継続支援B型)に移行したことに伴うものです。

一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,750万円を追加し、66億8,506万円としました。ブロック塀等撤去補助金等に必要な費用を補正するものです。

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ46万円を追加し、19億1,545万円としました。
国保システム改修等にあたり必要な費用を補正するものです。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ59万円を追加し、1億9,845万円としました。
過年度町保健事業費負担金償還の為の補正です。

下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,244万円を追加し、7億1,995万円としました。
下水処理場電気設備の長寿命化工事の為の補正です。

第3回議会定例会　議案等の審議結果

（○…賛成　×…反対）

審議案件＼議員名	村木	松野	三浦	杉本	安藤（哲）	安藤（巌）	鈴木	安藤（浩）議長	井野
教育委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	―	○
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	―	○
福祉医療費助成に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	―	○
地域活動支援センター設置条例を廃止する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成30年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成30年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	―	○
平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成29年度南東部開発事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成29年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成29年度上水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	―	○
平成29年度本巣消防事務組合一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	―	○

一般質問 5人の議員が町政を問う

９月定例会では、５人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。
質問の概要については、以下のとおりです。
なお、全文記録（議事録）は、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

ページ	質問者（登壇順）	質　問　内　容
7	井　野　勝　已	北方町の人口減少対策ビジョンは
		学校でのICT活用について
		山内中学校に学ぶ「生き方指導」
8	安　藤　哲　雄	ブロック塀の対策と芝原プールについて
		北方学園構想に関する懸案事項
9	松　野　由　文	学校施設の配置案に対し、問う
		「北方西小学校」の跡地利用をどう考えているか
10	三　浦　元　嗣	ブロック塀の点検等、耐震点検を行っているか
		国民健康保険税率について検討を
		生活保護世帯への熱中症対策について聞きたい
11	杉　本　真由美	特定健診の受診率向上のために
		糖尿病性腎症の重症化予防に取り組んでいるか
		学校現場での熱中症対策について

議会の傍聴にお出でいただき、
ありがとうございました。
◎9/3～9/18
傍聴された方　12名

一般質問は、住民から重大な関心と期待を寄せられている大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

井野勝巳 議員

北方町の人口減少対策ビジョンは

問 国や県の研究機関により、今後大規模な人口減少が進むことが公表され、社会保障の維持・雇用の確保等の面で諸問題が懸念される。このような人口減少予測・分析を受け、町長はどのような町づくりを考えているのか。また、それに関連して次の点について聞きたい。

①南東部開発事業での企業誘致は、雇用の場を生み、人口減少対策の一手を講じることになる。企業の従業員雇用と居住対策についてどのように考えるか。

②北方町は、町外への通勤・通学者が多い。バス交通の利便性の確保と道路整備が必要だと思うが、どのように考えているか。

③国は、地方の就業者や企業家を増やすために補助制度を設ける予定である。北方町も参考にしてはどうか。

答 町長

北方町総合戦略、第7次総合計画において、人口維持のために雇用の創出を重点的な課題として掲げており、これまで「南東部開発事業」を進めてきました。また、子育て世代に魅力を感じてもらう施策の一つとして「北方学園構想」に着手しています。人口減少対策に特効薬はありませんが、住民同士がつながりを築き、住みやすさを感じていただけるよう多様な角度から魅力を高め、選ばれる町にしていきたいと考えています。

①企業の進出により、町民が雇用されることを期待しています。土地区画整理事業により民間の宅地開発が盛んであること、アパートの空き部屋が多く見受けられることから、居住環境の整備について新たな対策をする必要はないと考えます。企業に対しては、住宅地や定住奨励金等の情報を提供することを考えています。

②岐阜バスへ運行時間や増便の要請をした結果、アユカの助成もあり、利用者は増加しています。また、2市2町広域公共交通連絡協議会において、町民の利便性に適う運行について協議をしているところです。

道路整備については、町道の舗装維持管理計画の策定に着手している段階で、策定後は本計画に基づき町道の維持管理を行っていきます。

③町として活用できるような法の整備がされた段階で、その都度判断したいと考えます。

学校でのICT活用について

問 文部科学省は、学校の情報通信技術・ICT環境の整備を進めるとしている。ICT支援員の配置等、ICT活用に伴う環境整備はできているか。また、デジタル教科書の導入と補助について聞きたい。

答 教育長

現在、小中学校に大型提示装置やコンピュータ、デジタル教科書等のICT機器や教材を導入しています。また、ICT機器を導入した業者に操作等の保守・サポートを依頼し、教員や子どもたちが円滑に活用できるようにしています。デジタル教科書は、小学校5年生以上で導入し、授業で活用しています。今後も環境整備五ヵ年計画における地方財政措置や、電子教科書に関わる環境整備の補助制度等をできる限り活用し、整備をしていきたいと考えています。

山内中学校に学ぶ「生き方指導」

問 佐賀県山内中学校で取り組む「生き方指導」を北方町でも取り入れられないか。

答 教育長

全国の中学校では、それぞれの地域に合った進路指導や生き方指導を進めています。北方町では、キャリア教育全体計画を作成し、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力や態度を育てています。今後、山内中学校での取り組みも参考にさせていただきます。

ブロック塀の対策と芝原プールについて

安藤哲雄 議員

問 先の大阪北部地震でブロック塀の危険性が認知されてきた中、今年度の芝原プールの中止が決定された。ブロック建築であるトイレ、更衣室、ポンプ小屋が傾いていることが原因だが、今まで危険性の認識はなかったのか。また、約46年間、北方北部地区の多くの子どもたちに親しまれてきた芝原プールを今後も継続してほしいと考えるが。

答 教育次長

今年の6月に町内各施設を緊急点検したところ、芝原プールのトイレ及び更衣室で地震による倒壊の恐れがあることが判明しました。プール自体も老朽化しており、子どもたちの安全を最優先とするため、今年度から芝原プールを廃止することとしました。

廃止が決まった芝原プール

北方学園構想に関する懸案事項

問 北方学園構想について、次のことを質問する。

・北学園の児童・生徒数は1000人程度、南学園は500人程度となり、学校規模に大きな差ができるが、学校格差が生じないようにする対策は。

・中学校在学中に北方学園に移行する生徒に対し、学校選択制といった特例措置を導入する予定はあるか。

・北学園と南学園に分かれることで、部活動のための人数を確保できない場合は、合同で行うのか。

・人間関係が固定化されることで、いじめが長期化することも考えられる。北学園と南学園で転校することは可能か。

・現在の中学校で使用している制服・体操服・カバンは同じものを使えるのか。デザインの変更はあるのか。

答 教育長

現在、検討委員会において、基本的な方針について検討している段階です。これまでに、校区割、教室数・施設配置、教育方針等の基本的な事項について検討してきました。

学校格差が生じないための対応、学校選択制、部活動の運営方法、制服・体操服については、来年度以降の検討課題として、今後具体化していく予定です。

いじめ等、生徒指導上の問題については、義務教育学校のよさである小中学校の連携を活かし、対応していきます。教員同士の協力により子どもたちに対する理解を深めたり、継続的な指導をすることで、どの子も自分のよさを自覚して、互いのよさを認め合い、安心して学び合える学校を目指していきます。

松野由文 議員

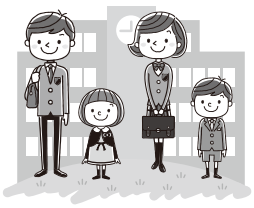
学校施設の配置案に対し、問う

問 先の「学校構想検討委員会」において、学校施設の配置案が提示された。その案によると、現在の「北方小学校」と「北方中学校」を隔てている町道が、「北学園」の南からの進入路となっている。「北学園」に通う児童・生徒の多くは北から通学し、幅員が狭く朝の交通量が多い東西の道を通らなければならないことから、安全な通学路の確保をどのように考えているか。

答 教育長

施設配置案については、現在の施設の有効利用を考えながら、学校に必要な教室等を考えたものであり、位置や詳細は今後詰めていくことになります。

安全な通学路の確保については、子どもたちの動線を考え、今後検討していく予定です。



問 「北学園」の施設配置案によると、「北方中学校」のバックネットはそのまま残っており、運動場の狭さが解消されていない。また「南学園」においても中学生の編入により、運動場の広さの確保が危惧される。「義務教育学校」には運動場の設置基準はあるのか。

答 教育長

小学校と中学校の運動場設置基準を準用することになっています。2つの義務教育学校は、この基準を満たしています。

問 「南学園」の7・8・9年生用プールの確保は。

答 教育長

現在のプールの状態、使用頻度等から、現状のままでの運用が可能だと考えています。具体的な運用方法は今後の検討課題です。

問 「北学園」の施設配置案の中に、「子ども園」の増築がある。「学校構想検討委員会」で検討している幼稚園・保育園の再編計画によるものなのか。

答 教育長

「北学園」の北西に、「子ども園」を設置する方針です。今後、福祉健康課と連携して具体的な再編計画を検討していきます。

「北方西小学校」の跡地利用をどう考えているか

問 本来、「北方西小学校」の跡地利用の検討は、学園構想の検討と平行して行われるべきである。旧庁舎の跡地利用についても、結論が出るまでに時間を要した。「北学園」と「南学園」に分かれることによる合同運動場の確保の観点、「北方西小学校」の体育館が使えなくなるという観点から、跡地利用をどのように考えているか。北方町は硬式テニスコートがないため、確保するのに良い機会だと考えるが。

答 教育長

跡地に対する協議に早く着手することは大切であると考えます。しかし、検討委員会で基本方針を検討中であり、開校まで時間があることや、現在も「北方西小学校」で学ぶ児童がいることを考えると時期尚早だと思います。

なお、必要な運動場の確保については、現学校施設をより有効に利用することで、一人ひとりの運動量は確保できるものと考えています。

その他の質問
・「ごみ屋敷」が改善された経緯と現状について

三浦元嗣 議員

ブロック塀の点検等、耐震点検を行っているか

問 6月18日、大阪府北部を震源とした地震が発生し、ブロック塀の倒壊による痛ましい事故が起きた。町内の危険なブロック塀の数を把握しているか。

答 防災安全課長

町内全ての危険ブロックの数の把握については、目視のみによる判断が難しいことや、点検範囲が広範囲であることから把握していませんが、自主防災訓練時等に地域住民の方自らが危険箇所を点検していただくことで、防災意識を高めていただくことが重要だと考えています。

問 学校及び通学路、幼稚園、保育園にあるブロック塀の数を知りたい。また、危険なブロック塀への対処は。

答 教育長

6月に緊急点検を行ったところ、倒壊した際の危険度が高いと判断したブロック塀は北方南小学校のプール入り口に1箇所、通学路におけるブロック塀は60箇所ありました。北方南小学校のブロック塀は既に撤去しており、通学路のブロック塀については、危険と思われる箇所には近づかないように子どもたちに指導しています。

国民健康保険税率について検討を

問 過去の一般質問で、「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」が改訂された際、安全点検を早急に行うことを求めた。現在の学校施設の安全点検の状況は。

答 教育次長

毎月15日の「安全点検の日」には、各小中学校において校内全ての箇所の安全点検を実施しています。

問 今年度、国民健康保険の県単位化が行われた。それに合わせ、この2年間で資産割を無くす代わりに所得割の税率を上げる等の改正を行ってきた。その結果、持ち家等の固定資産のある者は国民健康保険税が概ね下がり、持ち家等の固定資産のない者は概ね上がることになった。昨年度の決算によると、国保基金、実質収支額に余裕が見られる。このような状況を踏まえ、県単位化により引き上げられた所得割等を引き下げてはどうか。また、子どもの貧困や子育て支援の観点から均等割や平等割を引き下げてはどうか。

答 住民保険課長

県単位化に伴う県への納付金や平成29年度の繰越金が決定し、平成30年度の国保税本算定が確定したことで、平成31年度の税率については既に検討を始めています。来年度の県への納付金等の動向を注視しながら、具体的な税率の検討を続けていきます。

生活保護世帯への熱中症対策について聞きたい

問 厚生労働省は、熱中症予防として要件を満たした生活保護世帯に対し、エアコン費用の一部を補助する方針だが、厚生労働省からの通知はきているか。また、生活保護世帯のエアコン設置状況について把握しているか。

答 参事兼福祉健康課長

厚生労働省からの通知は、福祉事務所の設置者である都道府県、政令指定都市、中核市が対象のため、当町へは届いていません。また、岐阜地域福祉事務所を含め、エアコンの設置状況は把握していません。今後、相談や問い合わせがあれば、福祉事務所へつなぎ、適切な対応をしていきます。

杉本真由美 議員

特定健診の受診率向上のために

問 北方町の特定健診の受診率の現状と受診率向上のための取り組みについて聞きたい。

答 住民保険課長

平成28年度と平成29年度の受診率は次のとおりです。

(%)

年度	H29	H28
全体	35.2	35.2
男性	29.4	29.1
女性	40.1	40.3

年代別に見ると、平成28年度、平成29年度ともに、受診率が一番低い年代は40代、一番高い年代は70～74歳でした。

近年、受診率向上のために行った取組としては「受診勧奨コールセンター」、「医療機関の健診情報提供事業」、「日曜健診」等があります。また今年度から県と協働で、町が指定する健康づくりメニューに取り組むことでポイントに応じた特典が得られる「清流の国　健康ポイント事業」を始めます。

ポイントを貯めると素敵な特典が

問 特定健診の受診率向上に効果的なものとして、自己負担額の軽減がある。北方町では、自己負担額の見直しを考えているか。

答 住民保険課長

北方町では、健診項目として血液検査、尿検査、心電図検査等を行っています。実際は、約1万1,500円程の費用がかかっており、自己負担額はその10分の1以下の1,000円です。自己負担額の少ない市町村の受診率が必ずしも高いというわけではなく、近隣市町と比較しても高い金額ではないので、現段階で変更する予定はありません。

糖尿病性腎症の重症化予防に取り組んでいるか

問 糖尿病性腎症患者の約4割が行っている人工透析には、一人当たり月額40万円程の医療費がかかり、大きな負担となっている。
①糖尿病の患者数と医療費は。
②当町の重症化予防の取り組みは。
③レセプトデータを活用して、治療中断者の受診勧奨をしているか。

答 健康づくり担当課長

①平成29年度のレセプト分析によると、患者数は918人、医療費は年間約4億6,000万円です。
②平成29年度には、血糖値で国の基準以上の方に医療機関への受診勧奨を行いました。通院中の方については、受診者から医療の治療方針を聴きながら、生活習慣の見直し・継続治療の後押しをしています。
③昨年度より、国保のレセプトを活用して、受診勧奨をした方の治療状況を確認しています。

学校現場での熱中症対策について

問 学校現場において温度計を設置する等の熱中症対策を行っているか。

答 教育課長

暑さ指数が31℃以上の場合、運動を止めるようにしています。また、適切なエアコンの使用、帽子着用の励行等の対策を行っています。

現在、小中学校の体育館で温度計もしくは熱中症計を設置しているのは3校です。今後、全ての体育館に熱中症計測機能のある温度計を設置したいと考えています。

その他の質問
・高齢者への熱中症対策について
・暑さ指数のホームページ掲載、防災行政無線での啓発について

議会改革推進委員会を開催しました
（6月14日・9月7日）

6月14日に議会改革推進委員会を開催し、議会基本条例の「議会報告会」について意見を交わしました。

「議会報告会」は平成25年を最後に開催されておらず、報告会に代わる町民の意見を幅広く聞く手段として、「意見交換の場（第4条第5項）」を設けてはどうかという提案がありました。協議の結果、議会を3班程度に分け、今年度中に各種町民団体の会合へ参加し、北方町への意見・考えを聞かせていただくことになりました。

北方町議会基本条例

第四条
第五項　議会は、町民、町民団体、ＮＰＯ等との意見交換の場を多様に設けて、議会及び議員の政策能力を強化するとともに、政策提案の拡大を図るものとする。

9月7日の委員会では、前回提案のあった「出前議会（仮称）」について、出張する団体先や議員の班分け等の具体案について協議しました。

今後、定期的に委員会を開催し、「出前議会(仮称)」の実施に向けて話し合いを進めていくことになりました。

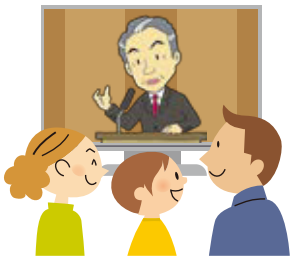
全員協議会で「北方学園構想」について協議しました

9月7日開催の全員協議会では、学校構想検討委員会の委員から経過の報告を受け、学校施設の配置案や建設スケジュールに関して協議をしました。今回協議したことは、議会の意見として、次回の検討委員会に報告することとしました。

12月定例会の予定

傍聴を希望される方は、庁舎3階の議会事務局で受付を行います。住所と氏名を記入していただきますので、ご協力をお願いします。

本会議の模様は、庁舎1階「いこいの広場」のテレビモニターでもご覧いただけます。



日　程	内　容
11月26日(月)	9：30　議会運営委員会
11月30日(金)	9：30　全員協議会
12月4日(火)	9：30　定例会（開会・提案説明） 終了後　議案精読（議案勉強会）
12月5日(水)	9：30　議案精読（議案勉強会）
12月6日(木)	9：30　議案精読（議案勉強会）
12月7日(金)	9：30　定例会（質疑、委員会付託） 終了後　議会改革推進委員会
12月10日(月)	9：30　定例会（一般質問）
12月11日(火)	9：30　厚生都市常任委員会（付託案件審査）
12月12日(水)	9：30　総務教育常任委員会（付託案件審査）
12月14日(金)	9：30　定例会（採決・閉会）

議会日誌
平成30年7月～平成30年9月

7月
- 12日　議会だより編集委員会
- 14日　町制施行130年記念式典

8月
- 24日　県町村議会議長会
- 27日　市町村議会議員セミナー
- 28日　議会運営委員会
- 31日　全員協議会

9月
- 3日　第3回議会定例会（第1日）
- 7日　第3回議会定例会（第2日）
- 10日　議会改革推進委員会
- 11日　全員協議会
- 12日　第3回議会定例会（第3日）
- 18日　厚生都市常任委員会
- 　　総務教育常任委員会
- 　　第3回議会定例会（第4日）
- 　　議会運営委員会